

## 平成27年度 志摩市ふるさと応援基金（寄附金）の運用状況

全国各地の方々に、志摩市ふるさと応援寄附制度（ふるさと納税制度）をご利用いただき、平成27年度末時点で、11,797件 695,359,285円のご寄附をいただきました。

これらの寄附金は、寄附された方のご指定した分野別にふるさと応援基金として積み立てられ、下記のとおり運用されております。

### 平成27年度中の基金の動き

#### 収入

- ふるさと応援寄附金 673,941,325円
- 基金利息 30,383円

#### 支出

- 基金活用（取崩額） 3,387,000円

#### 内訳

- 協働事業提案制度事業 285,000円

#### 【地域の活性化と伝統文化の継承（伊勢志摩風揚げまつりの企画）】

国府白浜園地にて、市民と風愛好家が集う場として、「伊勢志摩風揚げまつり」を開催しました。

市民のほか、沖縄県から福島県まで全国の風愛好家の参加がありました。

また、まつりの開催に先立ち、伊勢志摩サミット開催を記念した風を作製し、市役所において展示を行いました。



### 【里海の町 食材魅力化大作戦事業】

伊勢志摩元気プロジェクト賢島大学との協働事業で、市の施設である阿児特産物開発センターを活用し、市の特産物の開発を目指す『特産物開発スクール』を開催しました。

全4回のスクールを行った後、試作品として、『黄金もち』というかぼちゃで作ったもちの試作を行い、市民の方への試食とアンケート調査を行いました。

他にも子ども向けのキッズスクールを開催し、開発センターの見学やおおさのアイス作りなどを行い、身近な食材の活用を知り、体験する場を作りました。



### 【地域の活性化（近畿自然歩道）事業】

志摩町再生協議会と志摩市の協働事業として、近畿自然歩道のウォークイベントや緑化活動、看板整備等を行いました。





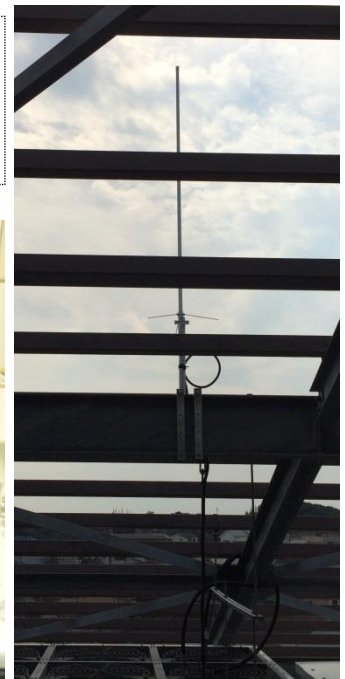
○ 交通安全施設整備事業 375,000 円

市道上における出会い頭等の事故防止や交通の安全・円滑化を図るため、交通安全施設（カーブミラー）の維持や補修等の整備を行いました。



○ 健康危機管理事業 290,000 円

災害時の医療活動等における通信手段として、携帯型デジタル簡易無線機 6 台、固定型（車載型）デジタル簡易無線機 1 台及び屋外アンテナ 1 基の整備を行いました。



○ 生ごみ減量化対策事業 647,000 円

生ごみの減量化を推進するため、電気式家庭用生ごみ処理機を購入された市内に在住する世帯主に対して、購入金額の 2 / 3 （上限額 40,000 円）を助成し、ごみの減量化を図りました。

○ 6 次産業化推進事業 295,000 円

波切漁港内にあるアラメ湯煮施設を、藻類加工試験場へ改修しました。漁業者自らが未利用水産物であるアカモク（海藻）の加工、商品化のための技術や知見を得るための施設です。

平成 28 年度には、実際に漁業者が加工試験を行う予定です。



○ 学べる里海推進事業 495,000 円

の矢小学校において、牡蠣の種付け、貝殻清掃等の「牡蠣養殖体験学習」を行いました。



立神小学校において、「真珠養殖体験学習」「アオサ養殖体験学習」「海の環境学習」を行いました。





各小学校において、磯観察、イセエビ網漁体験、水産高校との交流、水産研究所見学等様々な「里海学習」を行いました。



### ○ 種苗放流事業 1,000,000 円

海女漁業の主な対象魚種であるアワビ資源の増産を目指し、市内の沿岸域14地区でアワビ種苗約189,000個の放流を行いました。



## 平成27年度末時点での基金残高

ふるさと応援基金	665,683,654 円
内訳	
○ 環境に関する事業	186,392,665 円
○ 生活・安全に関する事業	40,720,505 円
○ 産業の振興に関する事業	93,617,002 円
○ 健康・福祉に関する事業	95,972,000 円
○ 教育・文化に関する事業	133,251,112 円
○ まちづくりに関する事業	82,342,000 円
○ その他個別の指定事業	33,327,001 円

※基金積立残高には、寄附金のほかに利息 61,369 円を含んでいます。

今後も、ご寄附をいただいた方々の思いを反映したまちづくりを進めさせていただきます。  
ありがとうございました。



新しい星海のまち・志摩